

令和元年 世界の瀬祭に供給 新潟県山田錦協議会

猛暑36°Cオーバーの中GPS可変追肥を研修

3年目のリモートセンシングは可変追肥後に効果測定を実施



8月5日、見附南RC圃場に協議会員と見学者47名が参加して、ラジヘリによるGPS可変追肥を見学。肥料の窒素成分が30%と大幅にアップしたために、1回の散布面積が拡大し効率化。その後、金内社長から山田錦の穂を割いてヨードチンキによる澱粉の状態を確認。穂肥と猛暑の管理についての注意点の説明。

生産者通信

旬エコ・ライス新潟 定価 100円(送料込)

岩淵会長からは7月25日に大阪で開催された「山田錦プロジェクト決起大会」の報告。有人宇宙システム(株)の伊巻和弥リーダーからは人工衛星を使った「デジタルファーム」について講演。



(左)星野会長、(右)池山課長

講演はネーブルみつけ場所を変えて、見附市農業委員会の星野三夫会長、見附市農業創生課池山一郎課長のあいさつ。



8月5日～7日にて可変追肥を実施

今年には新潟県農業試験場にも試験依頼をしていかなり期待できるとの報告。



三菱ケミカル(株) 安田部長

総務省のIoT実装支援事業に採択され、リモートセンシングデータも取り込みワンプラットフォームで情報を提供を目標としていることを熱く語られました。三菱ケミカル(株)の安田まり部長からは、協議会で協力をしている「苗清水」の生育の途中経過について説明。



有人宇宙システム(株) 伊巻リーダー

瀬祭 DASSAI

最高を超える山田錦 2500万円の栄冠はだれの手に！！ 「山田錦プロジェクト決起大会」



最後、参加した生産者の集合写真の時には

熱い戦いが始まっていました、！

7月25日、大阪市のオークラホテルが開催された決起大会には、13県18グループの生産者が参加して盛大に行われました。コンテストには25府県165人がエントリーし新潟県山田錦協議会からも15グループが出馬。

決起大会には岩淵会長が代表として参加。胸に「瀬祭」、背中に「新潟山田錦」のTシャツを着て会場に乗り込むと注目の的。桜井社長、桜井会長、そして「課長島耕作」の作者で漫画家の特別審査員の弘兼憲史先生が挨拶。